

# この夏 科学館が変わります

8月1日、生命の海科学館が、「わかるから面白い、面白いから親しみやすい」科学館に生まれ変わります。ぜひ、お出かけください。

生命の海科学館 館長 川上昭吾

## 楽しいもものづくり体験を

8月1日から、科学のおどろきいっぱいサイエンスショーと、科学の実験や工作を楽しめるワークショップが始まります。

水をかけるだけで、ベコベコにへこむドラム缶。振るだけでくるくると色が変わる、ペットボトルの中の水。サイエンスショーには、目の前で起きる「なぜ?」「不思議!」な現象が、「なるほど!」「ナットク!」に変わる瞬間のうれしさ、楽しさがいっぱいです。

ゲームやミステリー小説では味わえない力ガクのナゾ解きに、皆さんもチャレンジしてみま

## 地域の科学を伝えます

携帯電話の目覚ましアラームで起きて、冷蔵庫を開けてお気に入りの清涼飲料水を飲んで、顔を洗ってコンタクトレンズを装着：一日の始まりのほんの5分の間だけでも、見るもの触れるもの、ほとんどすべてが科学・技術によって生み出されたものです。科学・技術は、現代を生きる私たちの生活の礎なのです。そう思っただけで見回してみると、私たちのまわりの深い人やものがあります。

せんか?

「どうやって動いているのか知りたくて時計を分解してみたけれど、そのあと組み立てられなくて怒られた:」「おいしそうなおいがするの、ついバナラエッセンスをなめてみたら苦くて悲しかった:」そんな「分解くん」「チャレンジくん」がヒーロー・ヒロインになれる場所、それが科学館のワークショップです。実験工作を通して身近なものづくりとしくみを知ること、キミも一流の「分解くん」「チャレンジくん」になるろう!

生命の海科学館は、地域の大学や企業などの協力をいただいて、私たちの生活やまちを支える地域の科学・技術を紹介します。また、サイエンスショーやワークショップでは、お茶の水博士やアインシュタインとはひと味もふた味も違う身近な科学者・技術者にご登場いただきます。どうぞお楽しみに。

## いっかかは外へ

### インタープリターの挑戦

科学館の廊下で、ごう音を立てて走るふしぎな乗り物を操っているこの人物は、生命の海科学館の浅井インタープリターです。ものづくりの楽しさや科学のふしぎを伝える名人でもあり、ピカイチの「分解くん」「チャレンジくん」でもある浅井インタープリターは今、人が乗る

